



ITEA株式会社 東京環境アレルギー研究所

受託サービスのご案内

ご挨拶



ITEAは、2007年に「アレルゲンの研究活動と受託試験事業を通じて、環境と食の安全を深く追及すること」を目的に、事業を始めました。

アレルギー疾患の原因となるアレルゲン分野において、技術力・開発力の高度化に向けて挑戦すること、そして蓄積してきたノウハウを広く提供し次世代に継承していくことにより、科学技術とともにの輪を広げていき、多くの人々に喜んでいただける企業を目指します。

私たちは、お客様一人ひとりにご満足いただける商品やサービスを提供できるように、最善を尽くして参ります。熱意と誠意を持った仲間たちとともに、個々人が自分の役割に誇りを持ち、能力を充分に発揮しながら、成長する過程を純粋に楽しい時間として享受出来ること大切にしています。

代表取締役

荒川 忠夫

企業理念

すべての人にとって安全で快適な環境づくりに
知恵と技術で貢献し続ける。



目指すところ

すべての人にとって
安全で快適な環境づくりに
知恵と技術で貢献し続ける。

使命

すべての人が安心して
「快適」に過ごすことができる
環境をつくる。

価値観

新しい技術と情報で
新たな安全で安心なシステム
つくりに挑戦する。

企業概要

会 社 名	ITEA 株式会社 (英文表記 : ITEA Inc.)		
研究 所 名	東京環境アレルギー研究所 (英文表記 : Institute of Tokyo Environmental Allergy)		
所 在 地	〒113-0001 東京都文京区白山1-33-18 白山NTビル6階 TEL 03-3526-2031 (代) FAX 03-3526-2032		
W E B	www.itea.jp		
設 立	平成 19年 4月		
資 本 金	4,500万円		
役 員	代表取締役	荒川忠夫	
	所 長	阪口雅弘	麻布大学名誉教授
	副 所 長	宮澤 博	
	研究開発部長	齋藤三郎	東京慈恵会医科大学客員教授

ITEAを支える人財



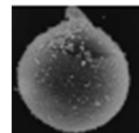
これまでに蓄積された我々の技術を社会に還元するために、アレルゲンの解析・定量技術を用いて、様々なアレルゲン暴露量の削減に向けた対策の評価を行っております

東京環境アレルギー研究所 所長
麻布大学名誉教授 阪口 雅弘

学歴 東京大学農学研究科博士課程終了（農学博士）

職歴 東京大学医科学研究所・助教、
ラホヤ・アレルギー免疫研究所（米国）・科学技術庁長期在外研究員、
国立感染症研究所・主任研究官、
理化学研究所免疫・アレルギー研究センター・チームリーダー、
麻布大学・教授等を経て2021年4月より現職

受賞歴 1999年 第24回多ヶ谷勇記念ワクチン研究イクラ奨励賞・受賞
2020年 室内環境学会学術大会・大会長技術賞・受賞



スギ花粉アレルゲン
Cry_J 2発見者



「無いものは作ろう」、「何事も自分で確かめてから」、
そして「行き詰まってからが本番」を信条にしております

東京環境アレルギー研究所 副所長 宮澤 博

学歴 杏林短期大学衛生技術科（博士保健学）

職歴 杏林大学保健学部教授を経て2022年4月より現職

受賞歴 2008年度 油脂工業会館油脂技術論文 最優秀賞

主な研究業績

- ・大正エビPen o 1、スルメイカTod p 1のアレルゲンに関する研究
- ・おたふくかぜ抗体測定法の開発



ヒトが喜ぶのが好きである。新しい出会いに感謝し、
与えられた環境の中でベストを尽くし、世に貢献したい
いつまでも未知なものに挑戦する心をもちたい

東京環境アレルギー研究所 研究開発部 部長
東京慈恵会医科大学客員教授 斎藤 三郎



学歴 慶應義塾大学大学院博士課程修了（医学博士）

経歴 東京慈恵会医科大学 分子免疫研究部、東京慈恵会医科大学
環境アレルギー学講座教授を経て2023年4月より現職

主な研究業績

- ・T細胞による免疫応答調節機構
- ・かゆみのサイトカインIL-31による免疫調節機構
- ・副作用の少ないペプチド療法の開発－スギ花粉症緩和米の開発－
- ・para-phenylenediamineによる接触性皮膚炎の発症機構の解明

知的財産

ITEAでは、以下の特許を取得または審査請求済みです。

出願・登録番号	発明の名称	経過状況
登録第5055599号	東京環境アレルギー研究所	商標取得済み
登録第5807696号	ナノアレルゲン	商標取得済み
特許第4444306号	エビアレルゲン及び抗エビアレルゲン抗体並びにその利用	日本・中国・韓国・香港 特許取得済み
特許第7126665号	アレルゲン不活化剤の評価方法及びアレルゲン不活化剤の評価キット	特許取得済み
特許第7429020号	光触媒を用いて有機物を分解する方法およびそのために用いる組成物	特許取得済み
特許第7411253号	花粉に対する不活化剤の不活化能評価方法	特許取得済み
特許第7515190号	情報処理システム、情報処理方法および情報処理プログラム	特許取得済み
特許第7487978号	衛生害虫の殺傷評価方法	特許取得済み
特許第7445324号	アレルゲン不活化評価方法およびアレルゲン不活性化評価用測定キット	特許取得済み
202180019029.2	乳酸菌含有組成物	中国・審査請求済み

ITEAでは、アレルゲンの定量技術により、製品評価、被験物や環境中のアレルゲン測定の受託サービスを行っています。製品開発から販売までの各段階に応じて、豊富な経験と確かな技術をもとに試験をご提案します。

Service

01



製品評価

事前にお客様のデータ取得目的や背景、製品の特徴などを丁寧にヒアリングした上で、これまでの豊富な経験を生かして試験を提案いたします。

Service

02



環境測定

環境中のアレルゲンとなりうるダニや花粉・カビの測定を承ります。
環境中のアレルゲン評価は、対策技術の開発や、お困りごと解決の近道へと繋がります。

Service

03

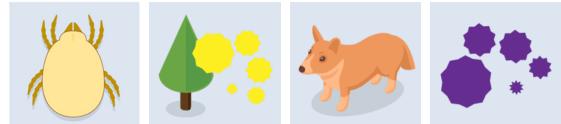


画像・動画撮影

各種試験系の構築で培ったノウハウを生かし、目的に合った顕微鏡画像・動画の撮影などを行っています。

測定可能なアレルゲン

ITEAでは、ダニや花粉をはじめ、ネコやイヌといったペット、カビなど、お客様のご要望に応じた様々なアレルゲンについて試験・測定を承っております。



アレルゲン	種和名	種	生物化学名	分布	質量/kDa
Der f 1	コナヒョウヒダニ	<i>Dermatophagoides farinae</i>	Cysteine protease	糞	27
Der p 1	ヤケヒョウヒダニ	<i>Dermatophagoides pteronyssinus</i>	Cysteine protease	糞	24
Der f 2	コナヒョウヒダニ	<i>Dermatophagoides farinae</i>	NPC2 family	虫体	15
Der p 2	ヤケヒョウヒダニ	<i>Dermatophagoides pteronyssinus</i>	NPC2 family	虫体	15
Cry j 1	日本スギ	<i>Cryptomeria japonica</i>	Poctate lyase	花粉	41-45
Cry j 2	日本スギ	<i>Cryptomeria japonica</i>	Poly galacturonase	花粉	45
Can f 1	イヌ	<i>Canis familiaris</i>	Lipocalin	被毛、上皮	23-25
Fel d 1	ネコ	<i>Felis domesticus</i>	Uteroglobin	被毛、上皮	38
Asp f 1	アスペルギルス	<i>Aspergillus fumigatus</i>	Mitogillin family	菌体	18
Alt a 1	アルテルナリア	<i>Alternaria alternata</i>	不明	菌体	16.4, 15.3

01 製品評価

さまざまな製品の性能・効果を評価しています。
以下の事例にないものでも承りますので、ぜひご相談ください。



[試験事例、お見積り等のお問い合わせはこちらから →](#)

試験目的例

- アレルゲン低減効果を訴求するためのエビデンスを取得したい。
- 開発品のスクリーニングをしたい。
- 製品のロットチェックをしたい。
- 製品ごとのアレルゲン低減効果の差を比較したい。

機能性剤

液体、粉体、気体などの
薬剤そのものについて、
アレルゲン低減効果を評価します。



素材・雑貨

建材・布・不織布など
機能性剤の加工品や、
寝具、清掃用品、洗剤などの雑貨の
アレルゲン低減効果を評価します。



電化製品

掃除機、スチーマー、エアコン、
空気清浄機などの電化製品による
アレルゲンに関する試験を承ります。

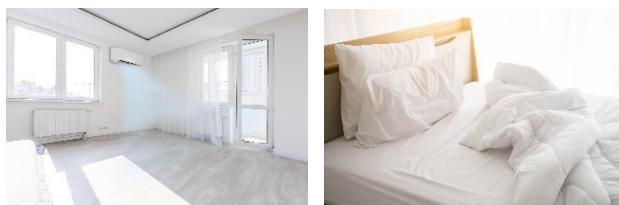


製品を使用した実環境でのアレルゲン低減効果試験

オフィスや住宅などの実環境における製品のアレルゲン低減効果を検討する試験も承っております。

試験例

- オフィス清掃ロボット稼働前後におけるアレルゲン低減効果試験
- 住宅における空気清浄機稼働前後におけるアレルゲン低減効果試験



02 環境測定

室内では、様々な場所からアレルゲンが検出されることがあります。
測定項目やサンプリング方法などは、お気軽にお問合せ下さい。



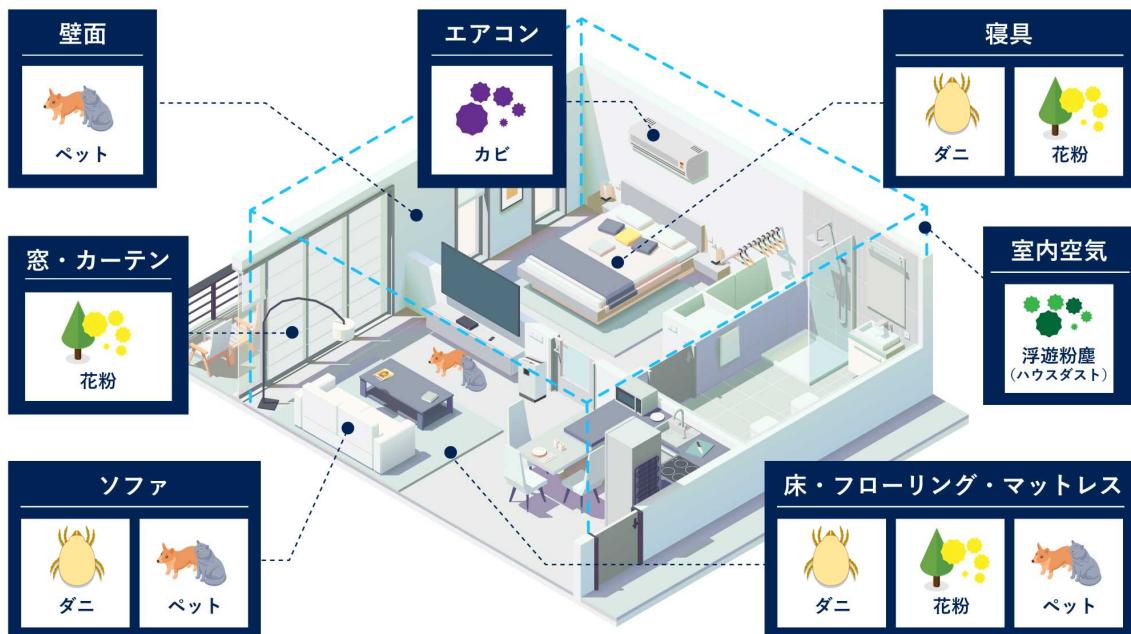
[お見積り等のお問い合わせはこちらから →](#)

目的例

- ・オフィスの空気中の浮遊アレルゲン量を調べたい。
- ・室内に入り込んだスギ花粉の量を調べたい。
- ・使用済の空調フィルターにどのようなカビが付着しているか調べたい。

測定例

- ・ハウスダスト中のダニ数測定：亜目・科まで同定してカウント
- ・ダニアレルゲン測定：塵中のダニアレルゲン量を測定する
- ・スギ花粉カウント：個としてカウント可能な花粉が対象



03 画像・動画撮影

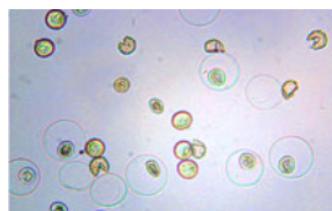
ダニ、花粉、粒子等の画像や映像の撮影を承っています。
製品特徴を生かしたイメージ撮影のご相談も受付けています。



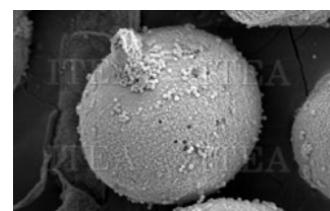
[お見積り等のお問い合わせはこちらから →](#)



シーツの上にダニがのっている様子を光学顕微鏡で撮影。



スギ花粉が破裂する様子を光学顕微鏡で撮影。



スギ花粉の表面構造を走査型電子顕微鏡で撮影。

Q 試験方法などわからないのですが、大丈夫でしょうか？

A はい、大丈夫です。当社ではお客様のご要望に合わせて試験をご提案させていただいております。試験の目的や被験物より、実施可能な試験をご提案させていただきます。

Q 試験実績の多いアレルゲンは何ですか？

A ダニアレルゲン、スギアレルゲンに関するご依頼を多く受けております。他にはペットアレルゲン（ネコ、イヌ）、カビアレルゲンなどの試験を承っております。

Q アレルゲンの低減試験に基準や規格はありますか？

A アレルゲンの測定基準として、纖維製品については「ISO 4333：纖維製品上の花粉 やダニ由来タンパク質等の減少度測定方法」がございます。その他の基準や規格はありません。

Q 予備検討試験（添加回収試験）とはどういったことを調べるのですか。

A アレルゲンに対する不活化剤の評価を行うとき、検査溶液に不活化剤が入ったまま評価を行います。そのため、この不活化剤が評価システムに及ぼす影響を事前に調べる必要があり、予備試験として添加回収試験をおこなっております。

Q 英文の報告書を発行してもらうことは可能ですか？

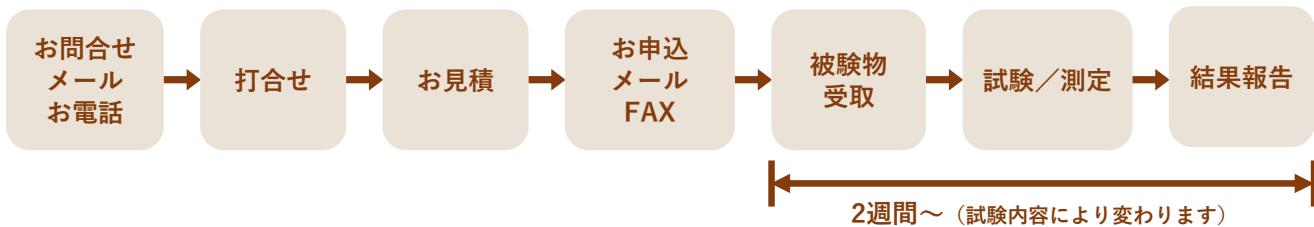
A はい、可能です。別途お見積りいたしますのでお申し付けください。

Q 試験結果をパンフレットやホームページへ掲載したいのですが、可能ですか？

A はい、可能です。試験番号、当社名の併載をお願いしています。

試験の流れ

ITEA所長 麻布大学名誉教授 阪口雅弘（農学博士）監修のもと、経験豊富な技術スタッフが被験物の形態に合わせて適切な前処理をおこない、信頼できる測定データを提供します。また、目的に対して何をどのように測定すればよいかわからない場合には、測定項目やサンプリング方法のアドバイスをいたします。
お気軽にご相談ください。



受託サービスに関するお問合せ先

ITEA株式会社 東京環境アレルギー研究所 受託部

◎ お問い合わせフォーム：<https://www.itea.jp/inquiry/>

◎ E-mail：info@itea.jp

◎ TEL：03-3526-2031 ◎ FAX：03-3526-2032



お問い合わせ
フォーム

ITEA株式会社 東京環境アレルギー研究所
受託部

〒113-0001 東京都文京区白山1-33-18 白山NTビル6階

E-mail : info@itea.jp

TEL : 03-3526-2031 FAX : 03-3526-2032

2026年2月作成

ver2026_1.0